

1 香川県動物愛護管理推進計画 平成27年度実施状況等

平成27年度 重点テーマ

「地域における動物愛護管理普及啓発の推進」

～人にも動物にもやさしい香川づくり推進事業～

- ・ 「みんなで考えよう！動物愛護！」啓発事業
- ・ 子どもへの動物愛護普及啓発の推進事業
- ・ 犬猫の譲渡等推進事業
- ・ 人とペットの災害対策推進事業
- ・ 動物愛護施策調査検討事業
- ・ 地域猫活動支援モデル事業
- ・ 所有者明示推進モデル事業

「みんなで考えよう！動物愛護！」啓発事業

○ 動物愛護啓発用テレビCMの制作・放映

県内の保健所で引き取られる犬猫の収容数や殺処分率の改善を目的に、また「香川県動物愛護管理推進計画」のメインテーマである『人と動物との調和のとれた共生社会づくり』を推進するため、動物の適正飼養、動物との正しい接し方等について、県民に広く啓発する目的で動物愛護啓発用テレビCMを作成した。

<内容>

- ・ 子どもたちへ向けて
「命の大切さ」や「思いやり」を育む心の醸成、ペットを飼うときの心構えや知識の啓発について
- ・ 動物の飼い主に向けて
動物の終生飼養を推進するための法令遵守や不妊去勢措置、所有者明示（個体識別）措置、遺棄・虐待の防止、災害時の動物対策等について
- ・ 県民全体（動物を飼っていない人などを含めて）に向けて
香川県の犬、猫の殺処分の現状、飼い主のいない野良犬、野良猫への無責任なエサやりの防止、保健所での譲渡事業の紹介等について

テレビ広告：民放2局（15秒CM×51本：9月1日～9月30日）

①ペットを飼うなら3つの約束

②犬猫の殺処分をなくすために3つの約束

新聞広告：四国新聞（3回掲載）

<①平成27年9月6日掲載>

みんなで考えよう! 動物愛護

ペットを飼うなら 3つの約束

香川県の保健所等に引き取られる犬や猫の数は全国に比べて多く、また元の飼い主への返還や新たな飼い主への譲渡が少ないため殺処分率が非常に高くなっています。殺処分を減らすため動物愛護の3つの約束をしましょう。

約束① 迷子札をつける (鑑別・マイクロチップ)
犬や猫は、狂犬病や感染症対策のため、必ず鑑別・狂犬病予防注射済票の鑑別が義務づけられています。

約束② 望まないなら増やさない
犬や猫は、生涯12歳まで生きる動物です。5歳以上、特に7歳以上は、1頭飼って2頭目は必ず譲渡先を探さなければなりません。

約束③ ルールを守って最後まで飼う
健康診断を行い最後まで責任を持って飼育しましょう。

ペットを飼うなら 約束だよ!

香川県では次の殺処分率が **全国** 平成25年度 **ワースト1位**

香川県 香川県健康福祉部生活衛生課 乳肉衛生・動物愛護グループ
香川県高松市東町丁目1番10号 TEL.087-830-3179 FAX.087-862-3606

<②平成27年9月13日掲載>

みんなで考えよう! 動物愛護

犬猫の殺処分をなくすために 3つの約束

香川県の保健所等に引き取られる犬や猫の数は全国に比べて多く、また元の飼い主への返還や新たな飼い主への譲渡が少ないため殺処分率が非常に高くなっています。殺処分を減らすため動物愛護の3つの約束をしましょう。

約束① ペットを捨てない傷つけない
動物を飼うがけに愛護、保護は、2年以下の動物又は200万円以下の動物、遺棄・虐待した場合は、100万円以下の罰金や懲らされず。

約束② エサをあげながら最後まで責任を持つ
不適当な飼育や虐待の被害を防止するため、飼育に必要となる餌、水、安全になる物を用意して、必ず守らねばなりません。

約束③ 保健所で収容された犬猫の新しい飼い主探しを行っています
香川県では次の殺処分率が **全国** 平成25年度 **ワースト1位**

香川県 香川県健康福祉部生活衛生課 乳肉衛生・動物愛護グループ
香川県高松市東町丁目1番10号 TEL.087-830-3179 FAX.087-862-3606

<③平成27年9月20日掲載>

みんなで考えよう! 動物愛護

動物愛護の約束

ペットは家族の一員です

ペットにとって、飼い主はたった一人(一つ)の生きていくためのよりどころです。だからこそ飼い主さんは、大きな責任がある事を自覚し、ペットに深い愛情を注ぎましょう。

約束① 動物由来感染症に気をつけましょう
① 狂犬病やその他の感染症(犬パルボウイルス、猫カリシウイルス)に注意し、動物に近づかない。② 動物に噛まれたら、必ず病院を受診し、傷を清潔に保ちましょう。③ 動物の身の回りには清潔にしましょう。④ 虫よけ剤、人用殺虫剤は動物に近づかない。

約束② ペットを守るために災害に備えましょう
① ペットが避難所でも安全に過ごせるよう、避難所から逃げられるように、自らも避難所を探しましょう。② 災害でペットを失った場合は、速急にペットフードやペット用品を準備しておきましょう。

迷子札をつける(鑑別・マイクロチップ) 望まないなら増やさない ルールを守って最後まで飼う
ペットを捨てない傷つけない エサをあげながら最後まで責任を持つ 保健所で収容された犬猫の新しい飼い主探しを行っています

ペットを飼うなら 約束だよ!

香川県では次の殺処分率が **全国** 平成25年度 **ワースト1位**

香川県 香川県健康福祉部生活衛生課 乳肉衛生・動物愛護グループ
香川県高松市東町丁目1番10号 TEL.087-830-3179 FAX.087-862-3606

○高松市ホームページ内に動物情報サイトを開設 (平成27年4月1日～)

迷い犬猫の返還や譲渡の推進、動物愛護の周知啓発、飼い主のマナーを向上させるため、高松市動物情報サイト「わんにゃん高松」を開設。市民が迷い動物情報を直接登録できる機能を新設し、利便性を向上させた。



「子どもへの動物愛護普及啓発の推進事業」

○ 教育施設等での出前講座の開催

< 東讃保健所 >

東かがわ市内の小学校において、6年生を対象に「動物愛護教室」を実施

1回開催：56名

内容：動物を飼う前の心構えや飼った時のルール・マナーの啓発及び迷子札作り等を実施



< 中讃保健所 >

夏休み期間中の学童保育の児童を対象に出前講座を実施

「動物愛護出前教室」夏休みの学童保育児童を対象

6回開催：223名

内容：命の大切さや相手を思いやる気持ちが育まれることを目的に、子供たちに分かりやすいようにカルタやクイズを利用して普及啓発

< 高松市保健所 >

「動物愛護出前教室」夏休み中の放課後児童クラブの児童を対象

16回開催：639名

内容：紙芝居やカルタ、クイズを利用した動物愛護に関する啓発

○ 子ども・命を学ぶ教育事業

子どもたちに動物を愛護する心を持ってもらうとともに、ペットを飼う時の心構えと知識を身につけてもらうことを目的として、児童向けの動物愛護教育資材「みんなで考えよう！動物愛護」を作成した（A4版三つ折り、全6ページ）。作成部数10,000部（県内の小学校に配布）



<高松市保健所>

小学生を対象に、殺処分と動物愛護を夏休みの自由研究のテーマに取り上げてもらう目的で、低学年向け（親子）・高学年向け動物愛護教室を開催。

参加者 子供27名、保護者11名

「犬猫の譲渡推進事業」

○ 譲渡前講習会の開催

（各保健所、動物愛護フェスティバル会場）

各保健所において、随時譲渡前講習会を開催し、法令遵守や動物の適正飼養について啓発

香川県：128回（203名）

高松市：74回（177名）

○ 譲渡ボランティアとの連携

保健所で保護された犬・猫を新たな飼い主に譲り渡すために、譲渡ボランティア（個人・団体）と連携して実施

譲渡ボランティア登録数（平成27年12月末現在）

香川県：15（名・団体）

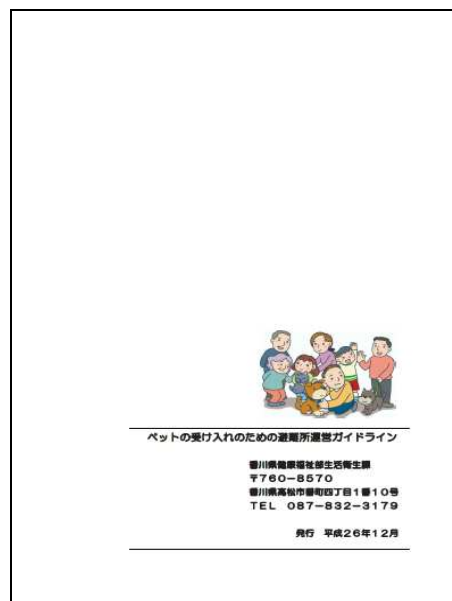
高松市：12（名・団体）

「人とペットの災害対策推進事業」

○ ペット受け入れのための避難所等運営ガイドラインの作成

災害発生時の動物対策は、環境省の「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」、「香川県地域防災計画」及び各市町の「地域防災計画」の中で、ペットとの同行避難を災害対策の基本として位置づけている。

そこで、県では避難所設置主体である市町又は自治会等が、ペットとの同行避難者の受け入れ体制を整備する際に参考とするためのガイドラインを作成した。



○ 動物の救護対策等の協議について

＜西讃保健所＞ 6月、11月

ペット同行避難可能な避難所の選定について、他県のペット同行避難訓練事例等を踏まえ協議を行った。

保健所が避難所におけるペットの受入・飼養管理マニュアルの作成について、助言、支援するとともに、そのマニュアル等を検証するためのペット同行避難訓練等の実施についても協議していく予定である。

「動物愛護施策調査検討事業」

香川県と高松市が共同で設置・運営を目指している「香川県・高松市動物愛護センター（仮称）」の整備に向け、香川県と高松市が協議を進め、平成27年7月に「香川県・高松市動物愛護センター（仮称）基本構想」を策定した。

その基本構想に基づき、香川県と高松市が継続的に協議を重ね、動物愛護センターの計画地や主要機能、施設・設備の内容や規模等を明らかにするとともに、今後の設計などの施設整備に反映させるために、「香川県・高松市動物愛護センター（仮称）基本計画」を策定することとした。

「地域猫活動支援モデル事業」

行政への猫の引取り数及び殺処分数減少のために、飼い主のいない猫（野良猫）に不妊去勢手術を施したうえで、地域の中で適正に管理することで、一代限りの命を全うさせ、将来的に野良猫をなくす、いわゆる地域猫活動を実施しているところである。

モデル事業の実施にあたり、県は、地域猫活動に取り組む市町に対し、不妊去勢手術費用を助成するなど、市町と連携してモデル地域の支援に取り組んでいる。

- ・ モデル地域：選定中（土庄町が参加の意向）
- ・ 地域における講演会の開催（12月）丸亀市
「地域猫活動の取り組みについて」地元自治会長を中心に約60名参加
- ・ 地域猫活動研修会の開催（2月）
地域猫活動に関する知識と理解を深めるために、行政担当者（23名）を対象に開催



「所有者明示推進モデル事業」

所有者明示の推進事業として、環境省が実施する「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト（マイクロチップ等所有者明示推進モデル事業）」に県が参加し、三豊市をモデル地域としてモデル事業を実施しているところである。

事業内容としては、所有者明示の実施率を向上させるため、所有者明示に対する飼い主等の意識・実態調査を実施し、その結果をもとに地域の実情を踏まえた施策（啓発方法等）を検討・実施することで、その成果を検証し、より効果的・効率的な啓発を実施していく。

○平成26年度の実績

モデル地域の実情を把握するためにアンケート調査（4,000世帯）を実施（回答：1,400世帯）

＜アンケート結果＞

- ・ 犬の所有者明示実施率（21.6%） マイクロチップ装着率（3.5%）
- ・ 猫の所有者明示実施率（8.6%） マイクロチップ装着率（1.2%）

○検討会の開催（3月：獣医畜産会館）

参加者：環境省、県獣医師会、三豊市、西讃保健所、生活衛生課

意見等：理解しやすい啓発資材（一般向け、動物病院向け、ペットショップ向け）の作成、モデル地域における研修会・講演会等の開催、事業を検証するために再度アンケート調査の実施

○平成27年度の事業内容

- ・ 講演会（1月：三豊市）67名参加
- ・ リーフレット作成・配布（2月～3月）
- ・ アンケート調査（2月～3月）
- ・ 三豊市のローカル放送及び広報誌等で周知・啓発



《 一般向けリーフレット：A5版二つ折り 》

(表)

(裏)

最後に…

この写真の動物たちは、マイクロチップ装着や検体の調子が完了して、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた犬や猫たちです。

マイクロチップ装着は、ペットへの愛から命を守るための大切なひとりで、マイクロチップを装着し、迷子になった時に飼い主を探します。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

マイクロチップの装着は、ペットへの愛から命を守るための大切なひとりで、マイクロチップを装着し、迷子になった時に飼い主を探します。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

マイクロチップ装着について
～ペットとの絆づくりのために～

マイクロチップを装着しよう!

マイクロチップとは…
犬や猫などの動物の「個体識別」をするためのものです。

マイクロチップ(MC)は、直径約2mm、長さ約12mmの円筒形のガラスのカプセルで包まれた小さな電子回路装置です。

「個体識別」はなぜ必要か?

動物検体検査や動物愛護センターに送られた動物は、迷子になった動物や、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物や、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物です。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

マイクロチップの装着は、ペットへの愛から命を守るための大切なひとりで、マイクロチップを装着し、迷子になった時に飼い主を探します。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

マイクロチップを入れるメリットは?

「迷子」になった動物は、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物や、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物です。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

「地震」等の災害で、動物が迷子になった時に、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物や、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物です。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

「盗難」にあっては、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

マイクロチップを入れるメリットは、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

《 動物病院向け：A5版 》

(表)

(裏)

ひとりぼっちにさせないために
災害時など、もしもの時のために
あなたとペットの絆のために

登録したペットの情報

個体識別番号: _____

誕生年月日: _____年 ____月 ____日

名前: _____

誕生日: _____

性別: _____ オス / _____ メス

動物種: 犬 / 猫 / その他()

品種: _____

毛色: _____

飼い主情報

氏名: _____

住所: _____

連絡先: _____

動物病院

病名: _____

連絡先: _____

飼い主が変わった時・連絡先が変わった時・ペットがなくなった時は、必ず登録データの更新を行ってください！(無料)

マイクロチップについてのお問合せ先
公益社団法人日本獣医師会(AIPO)プロジェクト
TEL 03-3475-1893 メールアドレス: info@microchip.jp
http://microchip.jp/ipo/

《 ペットショップ向け：A5版 》

(表)

(裏)

あなたの大切なペットには
マイクロチップが入っています!
～飼い主登録が必要です～

マイクロチップはどんなメリットがあるの?

「迷子」に合った動物は、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物や、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物です。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

「地震」等の災害で、動物が迷子になった時に、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物や、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物です。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

「盗難」にあっては、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

飼い主登録を始めるのはいつからすればいいの?

マイクロチップを入れた後、飼い主が変わった時、連絡先が変わった時に、(登録)日本獣医師会(AIPO)プロジェクト(事務局)へ必ず登録をしておく必要があります。

そもそもマイクロチップってなに?

マイクロチップとは、直径約2mm、長さ約12mmの円筒形のガラスのカプセルで包まれた小さな電子回路装置です。

「迷子」に合った動物は、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物や、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物です。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

「地震」等の災害で、動物が迷子になった時に、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物や、飼い主が戻らないまま、動物愛護センターに送られた動物です。また、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

「盗難」にあっては、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

マイクロチップを入れるメリットは、動物検体を通じて動物の健康状態を確認することもできます。

マイクロチップについてのお問合せ先
公益社団法人日本獣医師会(AIPO)プロジェクト
TEL 03-3475-1893 メールアドレス: info@microchip.jp
http://microchip.jp/ipo/

「その他の事業」

○ 犬・猫の適正飼養推進事業

＜中讃保健所＞ 11月

「動物愛護イベント」主催：中讃保健所、宇多津町

「うたづ臨海公園を愛犬と散歩しよう！」参加人数：20名

対象：うたづ臨海公園の利用者や宇多津町住民など

内容：動物の適正な飼養（散歩時のマナーアップ）の啓発や訓練士による実演



＜高松市保健所＞

「犬猫よろず相談会」

平成27年 6月24日 高松市保健所 参加人数：20名

8月19日 香南コミュニティセンター 参加人数：4名

10月21日 塩江コミュニティセンター 参加人数：7名

12月16日 牟礼コミュニティセンター 参加人数：2名

平成28年 2月17日 庵治コミュニティセンター

対象：高松市内の犬猫の所有者又は、犬猫の飼養に興味のある方

内容：守って欲しいルールやマナー、健康管理、悩み相談など



○ **動物愛護推進員による活動及び県・高松市の後援・共催事業について**

- ・ 「ワンだふるマナーDAY」
(三木町総合運動公園：11月)
主催：NPO 法人動物愛護かがわ
TRUST 香川県動物愛護推進員連絡研究会
協賛：三木町
後援：KSB 瀬戸内海放送、FM香川、高松リビング新聞社
内容：犬とのふれあいを通じて、県下のペット愛好家及び公園利用者
を対象に公共施設におけるペットのマナーやしつけ方などの啓
発イベントを開催

- ・ 優れた飼い主になるための勉強会
(高松市：11月)
主催：かがわ“いのち”を考える有志の会
後援：香川県・高松市
内容：犬の正しい扱い方の習得や危機管理意識の啓発を目的に開催

- ・ いのちをつなぐコンサート
(さぬき市：9月)
主催：いのちをつなぐコンサート実行委員会
後援：香川県
内容：保健所等に収容された犬猫に対する支援やボランティア団体等
への活動支援、並びに広く県民に動物愛護啓発を目的にチャリ
ティーコンサートを実施

○ **動物愛護フェスティバル**（公社）香川県獣医師会主催：9月

（高松丸亀町壱番街前ドーム広場）

後援：香川県・高松市等

- ・ ペットの健康相談・診療模擬体験（小学生対象）
- ・ 犬・猫の新しい飼い主探し
- ・ 新しい飼い主になるための講習会
- ・ 体験型啓発コーナー（動物愛護カルタ釣り、迷子札づくり）
- ・ 動物愛護啓発用DVD等の上映
- ・ 動物写生画優秀作品の表彰式

○ **譲渡ボランティアによる活動**

香川県・高松市に登録している譲渡ボランティアの活動紹介及び犬の譲渡会
(高松市中央公園：5月)

高松春のまつり「フラワーフェスティバル&交通安全フェア」

参加ボランティア 6団体25名 犬30頭

○ **市・町動物愛護関係担当者会の開催（7月）**

<議題>

- ・ 香川県動物愛護管理推進計画の平成27年度実施計画について
- ・ 香川県地域猫活動支援モデル事業について
- ・ 動物愛護管理・狂犬病予防に関する意見等について

【参考】 過去の実施計画（重点テーマ）について

年 度	重点テーマ
平成22年度	● 不妊去勢措置の推進と終生飼養の徹底
平成23年度	● 人とペットの災害対策の推進
平成24年度	● 人とペットの感染症対策の推進 ● 人とペットの災害対策の推進
平成25年度	● 子どもへの動物愛護普及啓発の推進 ● 人とペットの災害対策の推進
平成26年度	● 地域における動物愛護管理普及啓発の推進
平成27年度	● 地域における動物愛護管理普及啓発の推進

○ 平成28年度 実施計画（案）

平成28年度 重点テーマ

「動物愛護管理の拠点づくり」

「地域における動物愛護管理普及啓発の推進」

～人にも動物にもやさしい香川づくり推進事業～

- ・ 「みんなで考えよう！動物愛護！」啓発事業
- ・ 子どもへの動物愛護普及啓発の推進事業
- ・ 犬猫の譲渡等推進事業
- ・ 人とペットの災害対策推進事業
- ・ 動物愛護センター整備事業
- ・ 地域猫活動支援モデル事業
- ・ 所有者明示推進モデル事業
- ・ 野犬対策事業